

バッテリーキット 09-00-0022を取付けし他のメーターを接続する場合もご参照下さい。

レギュレーター追加付属のメーターキットご購入の方はメーター品番ご確認の上、接続図を確認して下さい。

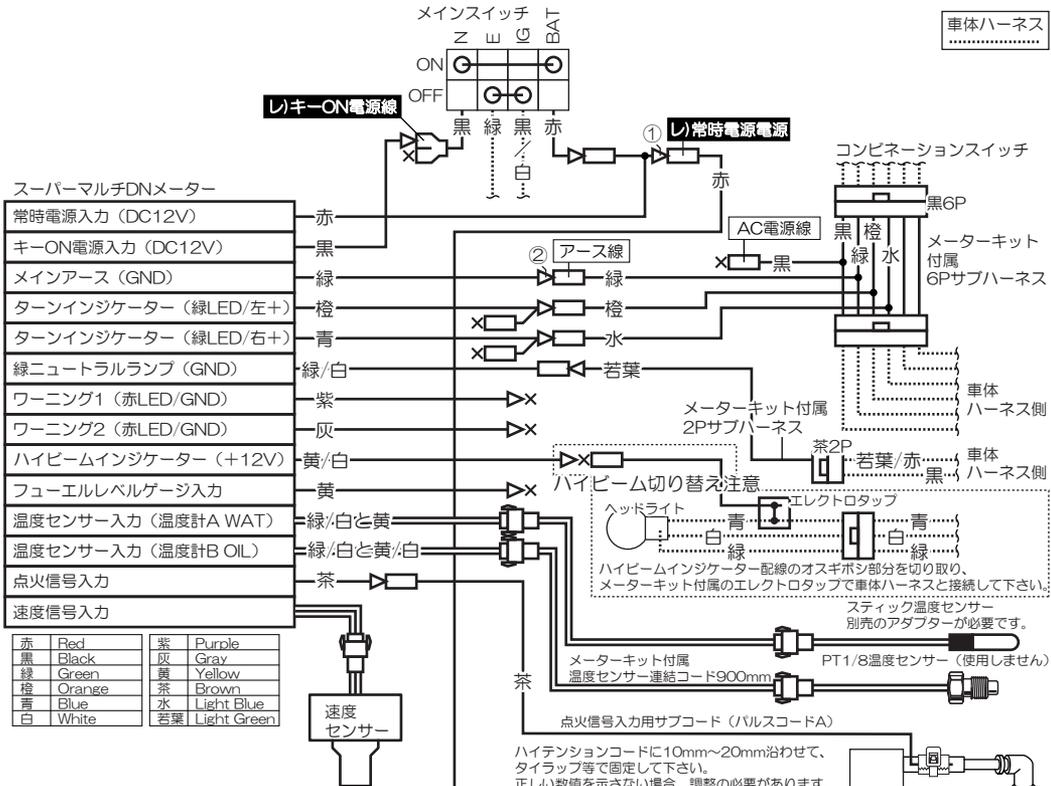
★マークは接続箇所と色が異なりますので、ご注意ください。

バッテリーレス車は、ヘッドライト切れなど電力消費量が落ちた状態で高回転走行を続けると、車体側電圧はかなり高くなります。本製品はあくまで車電装系に問題が発生した時にメーター類を保護する為の補助レギュレーターです。電装系に過度の問題がある状態での使用を続けると純正レギュレーターが完全に制御能力を失う恐れがあり、本製品の最大入力電圧40Vを超える可能性がありますのでご注意ください。

バッテリーとメインキー間にレギュレーターを割り込ませます。当社バッテリーキットの推奨消費電力の上限は充電能力の都合上8W(≒650mA)までとなります。(ミニレギュレーターの上限值1000mAより少なくなります)

下図は、車体後部のバッテリー付近にレギュレーターを割り込ませています。

図中①にミニレギュレーターの[黒]線と[茶]線、図中②に[緑]線を割り込ませ、ライトカウル内に設置する事も可能です。



ハイビーム切り替え/ヘッドライト球切れ注意点

AC(交流)電装ヘッドライト車 (多くのミニバイク、エンジン始動に伴いヘッドライトが点灯)

純正レギュレーター故障の原因となりますので、ヘッドライト不点灯で長時間走行しないで下さい。通常使用では問題無いのですが、不測の事態を避ける為にハイビーム配線を接続しない事を推奨致します。ハイビーム配線を接続した場合は、球切れしたロービームからハイビームへの切り替えをエンジン回転数が低い時に行ってください。

AC(交流)電装車の構造上、球切れなどでヘッドライトが不点灯になると余った電力により車体全体が通常よりも高電圧状態になります。特にエンジン回転数が高い時ほど高電圧になり、ヘッドライト不点灯状態で走行続けると純正レギュレーターに高い負担を与え故障の原因となります。

また、球切れしたロービーム(ヘッドライト不点灯)からハイビーム(ヘッドライト点灯)への切り替えをエンジン高回転時に行くと、不点灯時の高電圧から点灯時の通常電圧に下がるまでのタイムラグにより、ごく瞬間的にですが高電圧がハイビーム回路に流れてしまいインジケータが故障してしまう可能性があります。

